



セグウェイで児童の下校を見守る筑波学院大生―つくば市吾妻2丁目

セグウェイで見守り

筑波学院大生 子供たちに好評

筑波学院大（つくば市吾妻3丁目）の学生が昨年10月から、大学近くの市立吾妻小学校の通学路で、立ち乗り充電式2輪車「セグウェイ」を使った立哨活動を行っている。月2回（隔週水曜日）のペースで実施し、子供たちからも「かっこいい」と好評だ。

見守り活動は同大生7人が集まり、地域貢献活動の一環として始まった。同大が所有する2台のうち1台を使い、当番2人が操縦士と保安員に分かれ、下校時間帯の午後3時から同5時まで実施している。特に注意が必要な横断歩道に立ち、「さようなら」「信号が青だよ」などと声を掛けているという。

12日に行われた立哨活動に参加した経営情報学部3年の山口雅人さん(21)は「セグウェイは目立つので、自転車に乗った人が速度を落としてくれる。子供たちも安心して歩道を歩けるのでは」と話していた。